

資料提供

令和元年10月3日



担当課	スポーツ振興課
担当者	山本
電話	(073) 435-1364
内線	3051

デフバスケットボール日本代表合宿の誘致について

本市では、加太周辺地域のスポーツの魅力を生かした合宿誘致や障害者スポーツの推進に取り組んでいます。この度、日本デフバスケットボール協会及びデフバスケットボール男子日本代表の上田監督の協力を受け、第4回デフバスケットボール男子日本代表の合宿場所として、青少年国際交流センターなどの利用が決定しました。これは11月に香港で行われる「第9回アジア太平洋ろう者競技大会」に向け、現在世界ランキング15位である代表チームを強化するためのものです。

【デフバスケットボール日本代表合宿】

練習日時 令和元年10月5日（土）13時から19時まで
6日（日）9時から14時まで

場 所 ノーリツアリーナ

【宿泊】青少年国際交流センター 1泊2日（10月5日、10月6日）

参加予定人数 15人



【デフバスケットボールとは】（日本デフバスケットボール協会HPより抜粋）

聴覚障害者によるバスケットボールをデフバスケットボールと言います。デフバスケットボールの主な特徴としては、競技中の仲間が走り回る足音、ドリブルでボールが跳ねる音、味方や監督の声、観客の応援の音などが聴こえにくい、もしくは全く聴こえない状態でバスケットボールをプレーします。デフバスケットボールには特別なルールはありません。特別な措置として、当協会主催の大会にて、試合中にコートの対角にフラッグマンを設置します。審判やテーブルオフィシャルのブザーの音が鳴ると同時に目立った色の旗を振ってもらうことによって視覚的に状況を判断できるように情報保障を行なっています。